



## 2. 地域と連携した湧水復活事業

推進地区のひとつの湧水池とした横川弁天池については、20年度の公園整備にあたり、湧水量を増やして池にきれいな水が循環し、地域のシンボルとなるよう、横川弁天池湧水のかん養区域周辺を雨水浸透施設設置の「強化地区」と定め、19年12月から補助を増額し、雨水浸透施設設置の普及促進の取り組みをはじめました。

現在の横川弁天池の様子



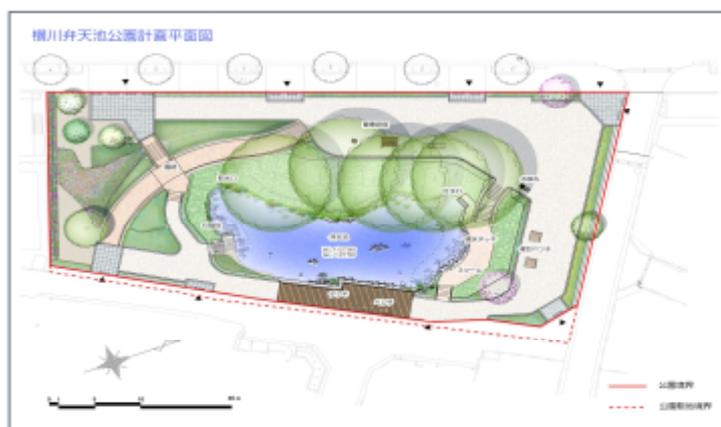
雨水浸透施設設置の普及促進は市民と工事店の理解が必要であり、市民・工事店・行政のパートナーシップが重要となります。そこで、「強化地区」の市民の方にご協力をいただき、この取り組みに際しては、「横川弁天池にふれあう集い」を開催するとともに、関係する町会や西部地区環境市民会議などで構成する「横川弁天池湧水保全協議会」を設置しました。

横川弁天池に対する地域の人たちの関心が高く、12月8日に行った「横川弁天池にふれあう集い」には市民や工事店の方々など合わせ100名以上の参加をいただきました。

また、「横川弁天池湧水保全協議会」では、雨水浸透施設の設置の促進について確認しました。



「横川弁天池にふれあう集い」の様子と公園計画平面図



## 3. 水循環の回復

19年度、下水道整備100%となり、河川の水質は環境基準を超える河川がなくなりつつあります。しかし、都市化に伴う地形の改変や地表面の被覆によって雨水の浸透に変化が生じ、「水は豊かです」とはいえない状況に変化しています。

源流を多く持つ上流域の自治体として、そして、安全・安心・潤いのあるまちづくりに向けて、八王子市の水環境を水循環の視点から捉えた取り組みを進めていきます。

健全な水循環系とは

健全な水循環系構築に関する関係省庁連絡会議では「流域を中心とした一連の水の流れの過程において、人間社会の営みと環境の保全に果たす水の機能が、適切なバランスの下にともに確保されている状態」と定義されています。